

## 2025年度 ニチキッズおおくぼきた保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月13日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月20日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもの主体性を大切に、おもいっきり“わくわく”できる遊びの提供・活動のなかで“いきいき”過ごせるように養護と教育が一体となった保育に努めた。
子どもの発達援助	子ども一人一人の興味や発達に応じて、遊びの提供や食事の形態の工夫を、職員全員で話し合い、日々安心した環境下で過ごせるよう連携を密にした。
保護者に対する支援	送迎時等でのコミュニケーションを大切にし、日々の子どもの様子や成長の姿を共有し、家庭での困りごとなどについて一緒に考えていく姿勢で保護者が安心して保育園を利用してもらえるように努めた。
保育を支える組織的基盤	職員間のコミュニケーションを大切にし、連携して保育が進められるように日々ミーティングを重ねた。園内研修や外部研修に積極的に参加し、個人のスキルアップ、施設全体の質の向上に努めた。

総評
<p>子ども、保護者、職員みんなが笑顔で過ごせることを念頭に、あたたかい保育が提供できるように職員間で話し合いを重ねた。そのなかで、子どもたちが主体性をもってのびのびと過ごせること、保護者が安心してお子さまを預けていただけることを第一に考えた。</p> <p>子どもたちが家庭で過ごしているような安心感をもって職員と関わり、自分の思いを表現できるように、一人一人に寄り添いながら信頼関係を築いた。</p> <p>引き続き、職員が自己研鑽を重ね、職員間の連携をより一層深めることで、よりよい保育を提供できるように努めたい。</p>